

科目名	資格対策 5							年度	2025
英語科目名	Qualification measures course 5							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 2 年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	2	種別※	講義+演習
担当教員	田原	教員の実務経験		有	実務経験の職種		パーソナルトレーナー		
【科目の目的】 JATI-ATIの知識の修得を目指します。									
【科目の概要】 演習問題の解答、解説を行うことによって資格の対策を行います。									
【到達目標】 JATI-ATIの知識の修得を目指します。 A. JATI-ATI理論編問題 B. JATI-ATI実践編問題 C. JATI-ATI実技編									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。課題の提出も必ず行うこと。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 もう少し			
到達目標 A	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上			理解している 60点以下			
到達目標 B	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上			理解している 60点以下			
到達目標 C	理解が出来ている 90点以上		理解が出来ている 75点以上			理解している 60点以下			
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		資格対策 5				年度	2025
英語表記		Qualification measures course 5				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	理論編問題	知識の修得	1	練習問題解答	理論編の問題を解き、教科書の内容を理解する	1	
2			2			1	
3			3			1	
4			4			1	
5			5			1	
6			6			1	
7	実践編問題	知識の修得	1	練習問題解答	実践編の問題を解き、教科書の内容を理解する	1	
8			2			1	
9			3			1	
10			4			1	
11			5			1	
12			6			1	
13	実技実技演習	トレーニング実技による説明、デモンストレーションができるようにする	1	レジスタンストレーニングの指導方法	レジスタンストレーニングの指導法の実践	1	
14			2	パワートレーニングの指導方法	パワートレーニングの指導法の実践	1	
15			3	有酸素トレーニング	有酸素トレーニングの指導法の実践	1	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							